



社会科新聞 (5年生)

高原新聞

塩原学園
令和3年5月21日
三尾 陽香

人々の努力

群馬県嬭恋村は元々キャベツが有名ではなかった。
嬭恋村は2000メートルを超える山に囲まれていた。そのため火山灰の影響によりなかなか作物が育たなかった。
畑を耕したりしたこと、明治時代の終わり頃からキャベツ作りが始められ、高原ならではの夏でも涼しい気候を生かした栽培方法があった。
村の人々の努力により次第にキャベツの生産がさかんになり「高原野菜の村」として全国に知られるようになった。
さらに高原野菜をつくる農家がふえていく。



新鮮なキャベツ

キャベツは暑さに弱い。嬭恋村は新鮮でおいしいキャベツを全国に届けることができる。
キャベツがよく育つ温度は約十五度から二十度で、嬭恋村の夏の平均気温とほぼ同じで、嬭恋村は標高が高いため、昼と夜の温度差が大きく、雨の量が適度なこともありあまくてやわらかいキャベツが育つ。
キャベツづくりで最も難しいのは収穫の時期で、毎日明け方から作業を始め、手作業で家族や、お手伝いの人など多くの人と協力してキャベツ一つ一つ収穫する。収穫したキャベツは、予冷庫で一度冷やしてから新鮮な状態で全国に運ぶ。



社説

嬭恋村の人々はたくさんの努力や、協力をしているということがわかった。嬭恋村の気候や自然などのことを嬭恋村の人々はわかっている。高い土地の暮らしは、高い土地ならではの気候や自然を生かして様々な取り組みをされており、実際に訪れて直接見たいと思った。

気候や自然に合わせて村の人々は暮らしているんですね！

嬭恋村は高い土地ならではの気候や自然を生活に生かしている。小学生は冬にスケートの授業や大会があったり給食に嬭恋村のキャベツが出たりする。その他に観光客は夏にはハイキングやマラソン自転車レースなどで冬にはスキーなど、たくさんの行事や活動を楽しんでいる。
高い土地だとわかっていないとできないこと



自然と生活



社会科新聞 (5年生)

高い土地について!

5年1組
令和3年度5月17日

社会科新聞

群馬県嬭恋

群馬県嬭恋村は、群馬県の西にあり、キャベツ畑が有名です。嬭恋村の周りには、2000mをこえる山がたくさんあります。冬にはスキーやスケート、夏では、キャンプ、ハイキングなど観光もできます。

嬭恋村は、そんな嬭恋村は、とくにキャベツ栽培に力を入れています。今から嬭恋村のキャベツ栽培の

キャベツ栽培

嬭恋村は、昭和の初めにはお金を稼ぐ手段は、まゆを売る子馬を出現するなどしかありませんでした。でも、たのみにキャベツを育ててみると、とてもおいしく、上手に作れたそうです。

そこから嬭恋村のキャベツ栽培が始まりました。今では、写真のように、こんなに広いキャベツ畑が広がっています。



1. 地域の気候を生かす！
嬭恋村は1年を通して東京より平均気温が低いので、高原野菜を作るのに適しています。平均気温は8度前後です。(キャベツは8度前後)

2. 出荷の時期を早らす！
他のキャベツ産地はあまり出荷しない夏、秋に出荷することによって、よりよい価格で売ることが出来ます。

嬭恋村は、日本一のキャベツ産地です。他のキャベツ産地とはちがう工夫がたくさんあります。

その他のいろいろ

嬭恋村のその他のいろいろを紹介したい物を紹介します。

まず、マラソン大会です。



嬭恋村の人たちは、たくさん工夫を続けたので、今、日本一のキャベツ産地として全国で有名なのです。

社説

私は高い土地を調べて、高い土地には高い土地ならではの工夫があることがわかりました。本当は嬭恋村の紹介したい工夫がまだまだたくさんありました。そんな魅力あふれる嬭恋村にいつか実際に行ってみたいです。



私は「マラソン」といえばキリだと思っていましたが、嬭恋村は、夏でも涼しいので、あえて夏に開催しています。(写真①)

キャベツの栽培は、まゆを売る子馬を出現するなどしかありませんでした。でも、たのみにキャベツを育ててみると、とてもおいしく、上手に作れたそうです。